

株式会社 松屋 2021年4月上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じる場合があります。

*緊急事態宣言に伴う休業要請を受け、4/25(日)より銀座店・浅草店は生活必需品を扱う一部の売場(食料品、化粧品等)を除き、臨時休業に入りました

*前年(2020年)は、第1回目の緊急事態宣言の発出により、4月第2週から翌月末日までほぼ全館で休業いたしました(外商等の一部で営業継続)

店名	売上高 対前年 増減率(%)	売上高 対前々年 増減率(%)	概況
銀座本店	575.3	-41.0	4月の銀座店は、3回目の緊急事態宣言により一部臨時休業に入り、月間で6日間の売上が損失(それが全体に与えた影響は約6%)、売上の比較が可能な前々年と比べると約4割減となりました(前年は、1回目の緊急事態宣言の発出により、4月第2週から翌月末日までほぼ全館で休業したことにより、売上高前年比としては約575%増となりました)。一方、臨時休業前の4/24(土)までの免税を除いた国内のお客様の売上については、ラグジュアリーブランドの売上高が前年に対して約12倍(前々年比でも約1.5倍)、宝飾の売上高も前年に対して約3.3倍(前々年比でも約1.7倍)となる等、銀座店の品揃えの軸となるカテゴリーの堅調な売上が全体を牽引しました。また、化粧品も前年に対して約4倍(前々年比も約1割減まで縮小)となる等、一部の商品は月を追う毎に回復の基調にありました。しかしながら、4/25(日)より銀座店・浅草店ともに、生活必需品を扱う一部の売場(食料品、化粧品等)を除き臨時休業に入り、5月以降の営業の見通し、営業再開後の買上動向等については不透明な状況が続くことが予想されます。
	*ご参考 前月(2021年3月)		
	売上高 対前年比	売上高 対前々年比	
	44.4	-13.7	

(ご参考)

銀座店	573.2	-42.4	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記しております。
浅草店	600.4	-19.1	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記しております。

※上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年(2020年)増減率、対前々年(2019年)増減率(%)を表記いたしております。

※「2021年4月上報告」は、2021/5/12(水)15時の開示を予定しています。